

小笠原村父島環境教育で最終報告会

前田道路

前田道路は、生物多様性に関する環境教育プロジェクトの最終報告会を開いた。東京農業大学国際農業開発学科農業環境科学研究室の学生参加の下、東京都小笠原村父島の小笠原営業所で、2022年9月21日から26日まで実施された同プロジェクトに関する現地視察を基に、意見交換などが行われた。

プロジェクトは、産学の協力による次世代技術者の生物多様性や環境問題に対する意識・興味の向上、環境配慮型舗装技術の開発を目標とし、小笠原を舞台に「環境保全」や「生物多様性とインフラ整備の在り方」について考える取り組みとして実施した。

現地視察では小笠原の自然の豊かさに触れるとともに、現地有識者の講義を受け、環境保全やインフラ整備について学んだ。写真。



最終報告会では参加した学生が、現地で「何を見て」「何を感じ」「どのような行動をとりたいか」について、それぞれの考えを発表し、意見交換した。生物多様性や同社の事業を中心に多岐にわたって理解を深めたことを確認し、22年度のプロジェクトを完了した。

23年度も同プロジェクトを実施する。複数大学からの参加者によるインターカレッジ方式を採用し、大学間のシナジー効果による活発な対話を導く新たな環境教育プロジェクトとして、発展させていく予定だ。

